

# 市長との約束 2021



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

危機管理監

佐藤 光弘

約束内容	地域防災力の中核となる消防団活動体制の維持，強化
達成目標	近年，本市でも即時対応力や動員力の礎となる消防団員の減少化が顕著であり，市民の安全・安心の確保にはこの傾向の抑制が急務となることから，減少カーブを抑えつつ将来的な維持，増強に繋げます。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%）★★★★☆
達成状況	・消防団整備計画の検証と見直しを実施し，幹部会議で承認後，市長へ報告。過去4年間の成果を確認し，今後5年間の指標を共有できた。 ・市部局，事業所及び大学等への団員勧誘により，職員，女性及び学生消防団員確保につながった。
今後の課題解決策	人員及び機械器具等の数値上の消防力は，勧誘や整備促進で充足化が図られるも，長引くコロナ禍による活動自粛等は，団組織において，現場活動知識・技術の衰退，指揮統制・安全管理意識希薄への不安となっている。 今後は訓練や演習等による実力養成と維持が求められる。

約束内容	災害から市民の生命・身体を守る
達成目標	近年頻発傾向にある大規模自然災害等により，市民の貴い生命が失われることがないように，また身体が守られるよう，更なる防災・減災力の向上を図ります。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%）★★★★☆
達成状況	・令和3年7月以降，台風8号から16号におよぶ警戒活動は，災害対策基本法改正に基づき迅速的確に実施され人的被害はなかった。 ・第2次総合計画（後期計画）で「マイ・タイムライン」が取組に記述され，安全避難行動に対する意識が確実に醸成されている。 ・大規模災害に対しては，公共施設と併せて民間施設への避難所協力が不可欠であり，古川地域の大規模冠婚施設と協定協議がまとまる。 ・消防本部（消防署），消防団，婦人防火クラブ，地域等の協働連携により，市域内火災の発生が継続的に抑止されている。
今後の課題解決策	実災害を見据えた関係機関の連携策については，コロナ禍による自粛・制限で計画変更を余儀なくされているところ，関係維持と防災力向上を期して一層の工夫を施し，推進展開策を講じたい。

約束内容	交通死亡事故の抑制
達成目標	市内における交通死亡事故「年間ゼロ」を最大の目標とします。
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★☆☆
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において、所轄警察署、交通安全協会、指導隊等関係機関・団体と密な連携のもと工夫しながら、交通死亡事故「ゼロ」を目指して事業を実施・推進している中、古川地域で単独事故による死亡者が発生した。年間死亡事故1件ではあるが、「ゼロ」達成には至らなかった。</li> <li>・市民の交通事故防止意識を更に高める事業、行事（集合型キャンペーン、巡回広報等）を推進し、年間において市域全体で2回、各地域で4回の「死亡事故ゼロ継続感謝状」に浴し、本年に引き継がれている。</li> </ul>
今後の課題 解決策	<p>今後を見据えた関係機関の連携策については、コロナ禍による自粛、制限により計画変更を余儀なくされており、相互の信頼関係とモチベーションの維持向上が最大の課題と考える。コミュニケーション方法を工夫しながら、情報を共有し、施策を推進していく。</p>